

# NEW ENGLISH TEACHERS' ASSOCIATION 2007

## 新英語教育研究会 第44回 全国大会 (大阪大会)

主催 新英語教育研究会  
 後援 大阪府教育委員会、東大阪市、  
 東大阪市教育委員会  
 日時 2007年8月3日(金)～5日(日)  
 場所 石切温泉 ホテルセイリュウ  
 〒579-8012  
 大阪府東大阪市上石切町 1-11-12  
 Tel.:072-981-5001  
 Fax.:072-987-0087

すべての子どもに  
 外国語を学ぶ喜びと  
 平和な未来をひらく力を!



※1600年前の大阪北部。  
 「草香邑」が大会開催地。

「競争やない共生や」  
 ともに語ろう  
 生駒のふもとで



### Arthur Binard

【プロフィール】

1967年、米国ミシガン州生まれ。コルゲート大学  
 英米文学部卒。90年来日、日本語での詩作を始める。  
 詩集『釣り上げては』(思潮社)で中原中也賞受賞。絵  
 本に『ここが家だーベン・シャーンの第五福竜丸』(集  
 英社)、翻訳絵本に『ダンデライオン』、『どんなきぶ  
 ん?』(ともに福音館書店)、エッセイ集に『日本語ほ  
 こりぼこり』(小学館)、『日々の非常口』。週刊誌の連載、  
 ラジオのパーソナリティーなど幅広く活躍中。

### 新英研講座

8月3日(金)  
 15時50分～18時

※詳細は3ページ

- 講座Ⅰ 中学入門期の授業づくり
- 講座Ⅱ 中学2・3年の授業づくり
- 講座Ⅲ やさしい教科書を使っての高校での授業づくり
- 講座Ⅳ 比較的むずかしい教科書を使っての高校での授業づくり
- 特別講座Ⅰ 小学校での英語授業はどうしたらよいか
- 特別講座Ⅱ 大学での授業はどのようにしたらよいか

演 題

「夏の線引き」

ーことばと戦争を考えるー

大会記念講演

アーサー・ビナード氏

※日本語をベースにした講演です。

8月3日(金)  
 14～15時40分

実践力を高める10の分科会	第1分科会	教科書・自主教材
	第2分科会	読みとりの力
	第3分科会	英文法
	第4分科会	音声
	第5分科会	学力と評価
	第6分科会	仲間と学び、自ら学ぶ力
	第7分科会	「おくれがちな子」
	第8分科会	自己表現
	第9分科会	平和・環境・人権教育
	第10分科会	外国人講師との授業

8月4日(土) 9～12時/13～15時40分

※詳細は3～4ページ

### テーマ別分科会/ワークショップ

<テーマ別分科会> ※詳細は5ページ

8月5日(日)  
 9～11時

- ① 発達障害と英語教育
- ② 秀吉と大坂城—歴史秘話—
- ③ 在日コリアンと生野コリアタウン

<ワークショップ>

- ④ Audio/Visual 教材で盛り上がる授業作り
- ⑤ 英語の歌を授業に
- ⑥ 世界から沸き上がる、みんなの「ねがい」

### 大会ホームページ

<http://www2s.biglobe.ne.jp/~notch/taikai/index.html>

後援：大阪府教育委員会、東大阪市、東大阪市教育委員会

## 第 44 回大阪大会でお互いの実践から学びあおう！

新英語教育研究会会長 柳沢 民雄

いま日本の教育界はさまざまな面で急旋回しています。「学力向上」のための<授業時間増>、「いじめをなくす」ための<規律強化と厳罰主義>、「教員の質向上」のための<教員免許更新制>。そして「ゆとり教育」は「詰め込み教育」へと逆戻りしようとしています。子どもたちはこれで幸せになれるのでしょうか？

一方、そういう状況の中で日本の教師たちは「先進諸国中最低の条件で最高水準の成果を挙げた」という指摘があります。（『世界』'07年2月号佐久間論文）

国民総生産に占める教育費は7%を超える米国や韓国に比べ、日本は5%以下。子どもに対する教職員数が少なくクラスサイズは最大規模。その中で地

域ごとの学校間格差を世界最小水準にし、さらに高い学力を維持していること背景には日本の教師同士の学びあいがあるというのです。こうした指摘は教職員への大きな励ましです。

50年近い実践研究の蓄積に裏打ちされた新英研の全国大会はそうした自己研鑽の成果を集中的に学べる貴重な機会です。今年は関西ブロックが総力を結集して全国からの参加者をお迎えします。現場の多忙化を考慮して大会日程を土・日を含めた2泊3日に縮小しながら、ことば・文化・平和に対する鋭い感性で活躍する詩人のアーサー・ビナード氏の記念講演、新設の新英研講座等々、魅力ある内容がたくさん用意されています。授業の悩みから日本の教育の未来にいたるまで大いに学び合しましょう。

## 大阪の地から世界を見据えよう！

～なには（浪花）ともあれ、みんな連れもって来とくなはれ！～

現地実行委員長 小部 修

さあ、みなさん22年ぶりの大阪大会ですよ。

昨年初参加の方が書かれています。「大会参加で、先生方の笑顔と新しいアイデアや教材をもらい、2学期からはもっと楽しく授業をしようと思いました。」

遠くは大阪湾を臨む生駒山の麓にたずむ「ホテルセイリュウ」。その昔、河内湖の底だった河内平野を見下ろせば、眼下には全国のラグーマンあがれの地「花園ラグビー場」。夜は「100万ドルの夜景」を楽しみながら、そして「食い道楽」の酒と食事に

舌鼓を打ちながら、英語教育の「今までとこれから」を大いに熱く語り合ひましょう。

数年来、英語科でも増えてきた若い教師は、少しでも授業で子どもたちの輝く目と活気のある学習活動に出会うという「教師としての生きがい」を心から求めています。私たちが、いまこそ子どもたちとともに時代を見据え、ともに知恵を出し合い、真に平和で美しい世界に貢献できる授業づくりをしようではありませんか。2学期が待ち遠しくなる大会でお会いしましょう！

# 大会日程表

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
8月3日(金)				全国常任委員会	全国委員会	昼食・受付	基調提案 開会行事	記念講演		新英研講座		夕食	分科会打合 ガーデン・コンサート	分科会打合	運営委員会	※KETG会長講演	新英研総会
8月4日(土)		朝食		分科会		昼食		分科会		文化行事 その1		夕食	研究者会議 文化行事 その2	運営委員会	ブロック別	交流会	
8月5日(日)		朝食		テーマ別分科会	ワークシヨップ	閉会行事	アンコールレポート	昼食	総括会議		※KETG (=Korean English Teachers Group) ホン・ワンキ会長特別講演 「東アジアにおける英語教育」						
									オブショナル・ツアー								

# 新英研講座

8月3日(金)  
15時50分～18時

1. 目の前の生徒に合わせた横断的、総合的な実践方法を研究します。
2. 小学校から大学までの各発達段階に応じた言語材料、教材、自己表現などの到達目標を検討します。
3. 新英研の入門講座として日々の授業を磨く技、英語の授業づくりの視点を学びます。

## 中学入門期の授業づくり

### 講座 I

最近スタートの時点から既に学力にも意識にも差がついている新入生に、いかに「楽しく」「わかり易く」英語の学習を進めていくか、英語通信・文型の定着などの授業の工夫を紹介しましょう。

----- 市村香代子(東京)

## 中学2・3年の授業づくり

### 講座 II

教科書の中身を大切に、環境・平和等の題材を発展させることで生徒達と授業づくりはどう取り組んでいるのかを、具体的教材や自己表現作品を紹介しながら話します。参加者とWORKSHOPを通して交流していきます。

----- 糸山京子(福岡)

## やさしい教科書を使つての高校での授業づくり

### 講座 III

定時制の生徒に色々な角度から授業に取り組ませた総合的な実践。英語の歌、一日一英文、映画の台詞、「ハンナのかばん」、「アレン・ネルソンの戦争論」等々。生徒は学習を通じて自分を見つめ直します。

----- 石山裕生(山梨)

## 比較的むずかしい教科書を使つての高校での授業づくり

「英語楽習」作りのtipsを紹介します。マザーグース、歌、映画などの教材とその recipes のあれこれ。読解では「部分訳中渡し」方式と日本語を援用した bilingual method による協同学習を参加型で行います。

----- 弘山貞夫(愛知)

## 小学校での英語授業はどうしたらよいか

小学校の英語活動のねらいは、国際理解教育で基礎教育を充実し、子どもの可能性を高めること。それを実現する手法として研究・開発してきたテーマ別英語教育を、具体的な実践例を示し提案します。

----- 町田淳子(神奈川)

3年間小中連携加配として2小学校で行った、他者理解や英語の世界を広げるための自己表現活動・Message Notebook の実践と小学校英語活動の問題点、現状を報告します。

----- 畔柳晋介(京都・中)

## 大学での授業はどのようにしたらよいか

黒板に<やっぱり英語は大嫌いだ>の落書き。「やっぱり」に英語を復習し直そうとした学生の意図を読みとり、中学段階でのツマツキを英語史の観点も加えて、克服することを目指した入門期の授業。

----- 内野信幸(愛知)

# 実践力を高める 10 の分科会レポート

8月4日(土) 9～12時 / 13～15時40分

## 第1分科会

### 教科書・自主教材をどう検討し、扱うか

- (1) 中学生も多読にチャレンジ  
～英文を読んで心を豊かに～  
多邊田敦子(東京・中)
- (2) 教材選びでうまくいく～新英研でうまくいく～  
野崎雅和(滋賀・高)

共同研究者：内野 信幸(日本福祉大学) / 菊地 英(立正大学)

## 第2分科会

### 読みとりの力をどう高めるか

- (1) 想像力を育てる授業とその応用  
～児童文学における実践から～  
島田美織(埼玉・大)
- (2) 古くて新しい読み物『文学』の魅力から  
洪育生(京都・高)

共同研究者：大浦 暁生(元中央大学)

## 第3分科会

### 英文法をどう考え、どう教えるか

- (1) 文法を身近なものに関連づけて  
～『あーそうだった』と思し出せる授業づくりを目指して～  
内海明子(長崎・中)

- (2) 「特急券」として欲しくなる英文法指導のあり方  
～丸暗記厳禁主義の立場から～

徳長誠一(北海道・高)

共同研究者：田村 蒸治(宮城工業高等専門学校)

## 音声を重視してどう教えるか

- (1) みんなとだからできること、しなきゃいけないこと  
～音声指導の工夫～

井塚康博(福岡・中)

- (2) CNN、洋画を使ったなりきりシャドーイング  
鈴木政浩(埼玉・大)

共同研究者：浅川 和也(東海学園大学) / 緒方 智子(長崎総合科学大学)

## どんな学力を目指し、どう評価するか

- (1) 「なんで？」と問う学力、「なんででも」と答える胆力  
～高校三原則の公立校と超進学校の私立校を経て～  
奥西正史(奈良・元中高)

- (2) テストづくりと3年間の到達目標  
岩崎友紀子(東京・中)

共同研究者：保坂芳男(立命館大学) / 安部直子(西東京市立保谷中学校) / 一宮和一郎(大阪国際大学)

## 講座 IV

## 特別講座 I

## 特別講座 II

## 第4分科会

## 第5分科会

第6分科会

仲間と学び、自ら学ぶ力をどうつけるか

- (1) 本音で語るスピーチ  
小塩潤子(東京・中)
- (2) 問題な自分・若者・社会を考えるオリジナル教材  
杉浦俊一(愛知・高)

共同研究者: 二階堂 次男(元・福島市立岳陽中学校) / 加藤 彰男(前橋産業技術専門学校)

第7分科会

「おくれがちな子」をどう生き生きさせるか

- (1) タフな教室のタフな練習活動『弾丸インプット～英単語ビシバシ編～』  
泉康夫(神奈川・中)
- (2) 学ぶことから逃避する生徒たちと向き合ってどうすれば授業ができるか、試みていること  
北川慎一(埼玉・高)

共同研究者: 山田 清文(元・愛知県立大学) / 原 夏子(元・日本福祉大学)

第8分科会

表現力、特に自己表現の力をどう広げ、どう高めるか

- (1) 自己表現で伸ばす4技能—30文ライティング—  
2分間フリートークができるまで—  
劉崇治(大阪・中)
- (2) 自己表現で豊かな交流—ピースメッセージ—  
スピーチ・スキット・英語の詩など—  
田中渡(埼玉・高)

共同研究者: 田中 安行(新英研顧問) / 正慶 岩雄(元・立正大学) / 枝村 泰代(元・日本福祉大学)

第9分科会

平和・環境・人権教育をどう進めるか

- (1) English Message から Peace Messageへ  
～修学旅行での取り組み～  
谷口史恵・小西とも恵(石川・中)
- (2) "Landmines and Children" から "Landmines and Us"へ —教科書の主題を自分たちにつなげるといふこと—  
別府邦子・小野木ゆみ(大阪・中)
- (3) 『平和と人権』にみる若者の歴史認識  
安藤富雄(愛知・大)

共同研究者: 戸田 康(新英研副会長) / 安藤 富雄(日本福祉大学)

外国人講師との授業をいかにつくるか

- (1) ALTの個性を生かした Team-Teaching  
羽野祐司(大分・中)
- (2) ティーム・ティーチング授業実践例  
小原百合子(静岡・高)

共同研究者: 瀧口 優(白梅学園短期大学)

第10分科会

文化行事

その1

8月4日(土)  
16～17時半

『旧日本軍「慰安婦」ハルモニの証言を聴く』



第二次世界大戦中、13・4歳の少女を含む若い女性を性奴隷にした日本軍。日本政府の公式謝罪と賠償を求める彼女たち。米国議会に出された日本政府の謝罪を求める決議案に対する安倍首相の対応が国際社会で問題になっています。韓国ナムムの家から被害者を招いて歴史の証言を聴きます。

その2 8月4日(土) 19時半～20時半

エスニック音楽の夕べ

それぞれの民族がそれぞれ独自の音楽を生み出し、そのどれもが人々の暮らしや歴史を物語っています。夕食後のゆったりとした時間に、心に沁みる民族音楽をお届けします。

Optional Tour

—在日コリアンの共生の歴史フィールドワーク—  
最少催行人数 20人  
費用 約1,000円。(交通費別)  
日時 8月5日(日) 午後

【コース】

ホテル前集合・出発→近鉄石切駅→近鉄鶴橋駅  
13:30=13:40 13:50 14:20  
→駅前国際市場→疎開道路→御幸森神社→  
「つるのはし」跡→平野川→生野コリアタウン  
→近鉄鶴橋駅にて16:00解散



コリア・タウンの百済門



地名「鶴橋」の語源となったつるのはし跡

研修

KETG(韓国英語教師の会)夏季研修大会(於韓国)

KETGの夏季研修大会が、例年7月の末におこなわれます。新英研からも参加者があり、交流を深めています。大学の施設でおこなわれ、熱気にあふれています。ご関心のある方は、池田事務局長まで。

池田真澄(Tel./Fax: 0425-76-9239, mikeda@k2.dion.ne.jp)

第6回PGL「グローバルランゲージ(地球語)としての平和」国際会議

http://homepage.mac.com/p\_g\_l/2007.htm

期日: 10月27日(土)・28日(日) / 会場: 京都外国語大学

内容: 平和・環境・人権など地球規模の課題や教育に関する日英

語による発表多数、大学生による模擬国連会議ほか。

問合せ: 菊地恵子(Tel: 0493-74-6651, e-mail: kikuchik@tiu.ac.jp)

\*発表者も募集しています。締め切りは、5月31日です。

## (1) 発達障害と英語教育

これまで新英研の仲間たちが研究・実践してきた<障害児に対する英語教育>の蓄積を分析・検討する中で、今日の問題・課題に焦点を当てた実践の方向性を探りたい。

講師：井澤孝典(神戸大学附養)

## (2) 秀吉と大坂城—歴史秘話—

豊臣秀吉が築いた大坂城と城下町の姿を推定し、それらが夏の陣で全燃後、徳川幕府によって再建された新しい城下町との大きな違いを考える。また、秀吉の天下統一と朝鮮侵略に関わる史実を探る。併せて、天守閣展示資料の英訳エピソードも紹介する。

講師：渡辺武(元・大坂城天守閣館長)

## (3) 在日コリアンと生野コリアタウン

歴史的背景を学んだ後、「日本に強制連行されてから今日までの歴史」を日本人との共生の観点から講師が語る。アジアと日本の過去・未来を捉え直し、「日本人の多様化」「移民社会の到来」の中で「我々がどう共生を実現していくか」を考える。旧日本軍「慰安婦」の方の講演(4日文化行事)、生野コリアタウンのオプションツアー(5日午後)との関連企画!

講師：宋<sup>ソン</sup>オ(ソニア NGO センター)

## (4) Audio/Visual 教材で盛り上がる授業作り

Audio/Visual 世代の子ども・生徒のハートを鷲づかみにする英語教材を作りましょう。講師を中心に、そのノウハウを伝授します。傑作アニメ「となりのトトロ」の日英比較や「チャップリンの独裁

者」の感動的な演説などの映画や音楽の教材例を通じて、作り方と指導のツボを学びましょう。

講師：江利川春雄(和歌山大学)

## (5) 英語の歌を授業に

### A. 生徒の心に寄り添う英語の歌の選び方

文法事項中心の選曲とは少し離れ、その時々々の生徒の心にしみる選曲方法をご紹介します。また、洋楽単語カードの活用やパソコンソフトを使って楽しく学ぶ方法についてもご紹介します。

講師：鈴木政浩(西武文理大学)・井川明彦(讃岐屋)

### B. 英語の歌で "Let's Enjoy English!"

「英語の歌の意義・効果」「効果的な導入の仕方」「入門期の歌」「生徒に好評な歌」「声の出させ方」等をワークショップも含めて報告・交流したい。

講師：根岸恒雄(埼玉・中)

## (6) 世界から沸きあがる、みんなの「ねがい」

2002年広島の中学生達の平和宣言文を基に広島合唱団が作詞・作曲した平和の歌「ねがい」は、03年 iEARN 国際会議のテーマソングに選ばれ、ネットを通じて世界に紹介された。元歌の4番に続く歌詞を募集中(07年3月現在800番まで集まっている)。ゲストとの対談後、参加者も歌詞作りに挑戦する!

講師：長田寿和子(兵庫・中)

ゲスト：Gordon Nyabade(ケニア)、Maryam Behnoodi(イラン)、横山基晴(広島・中)

# ホテルセイリウまでの 交通のご案内

# ACCESS

## ●電車利用

### 【新大阪・大阪(梅田)方面より】

行き方1 「新大阪」よりJR京都線に乗り換え「大阪」まで乗車(4分)、

「大阪(梅田)」からJR大阪環状線に乗り換え「鶴橋」まで乗車(15分)、

「鶴橋」から近鉄奈良線急行・準急に乗り換え「石切」下車(12分～15分)。

行き方2 「新大阪」より(「大阪(梅田)」からも)地下鉄御堂筋線で「なんば」まで乗車(14分)、

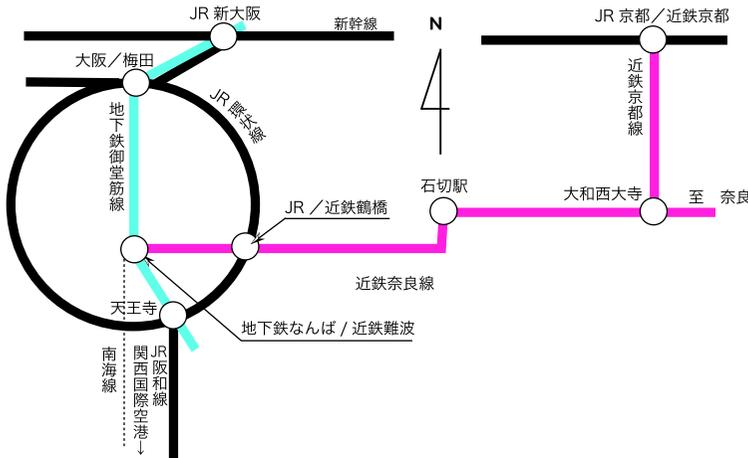
「近鉄難波」から近鉄奈良線急行・準急に乗り換え「石切」下車(19分～21分)。

### 【京都方面より】

「京都」より近鉄京都線有料特急(29分)または急行(40分)で「大和西大寺」まで乗車、「大和西大寺」より近鉄奈良線急行・準急に乗り換え「石切」下車(14分～17分)。

※「石切」(急行・準急停車。快速急行は停車しないので注意)

南口(難波寄り)から近鉄奈良線沿いに徒歩5分。(石切駅付近図参照)



## ●航空機利用

### 【大阪空港から】

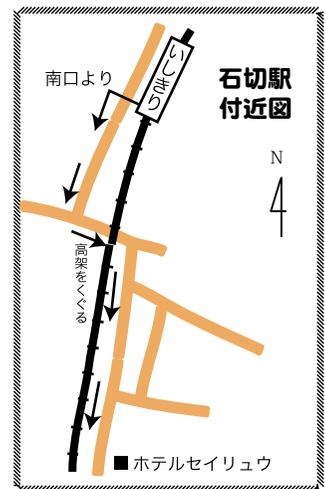
地下鉄なんば；OCATまで空港バスで渋滞がなければ約30分。近鉄難波から奈良線の急行・準急で「石切」下車。

### 【関西空港から】

南海有料特急ラピートで難波まで約35分。空港急行で約43分。近鉄難波から奈良線の急行・準急で「石切」下車。

## ●自動車利用

中国道/名神吹田JCTで近畿自動車道へ→東大阪JCTで阪神高速13号東大阪線の奈良方面へ→水走(みずはい)で降り、山手に向かって直進。ただし、駐車スペースには限りがあります。※詳しくはホテルセイリウのホームページをご覧ください。アドレスはp.8に掲載しています。



## 大会参加費等について

### 参加費

<二日以上参加>

教員 9,500 円 父母一般 4,500 円 学生 2,000 円

<一日参加>

教員 4,000 円 父母一般 2,000 円 学生 1,000 円

※記念講演のみ参加 1,000 円

※文化行事のみ参加 1,000 円

※なお、新英研会員には割引の特典があります。大会期間中に新英研コーナーにて、1,000 円を返金します。

※参加申し込み後に取り消しされる場合でも、参加費の返却はできません。(その際、大会資料を送付します。)

### 宿泊のご案内

<宿泊ホテル> ホテルセイリュウ

大人(中学生以上) 10,500 円

(1泊2食、税金・サービス料込)

子ども(小学生以上)

7,500 円(食事大人と同様)

5,500 円(食事お子様用)

※原則として相部屋となります。

※部屋割りは必ずしもご希望に添えない場合もありますので、ご了承ください。

※ご家族や2～3人での宿泊を希望される場合、お申し出ください。

○3人1室ご希望の場合

→1泊お一人あたり 3,150 円追加

○2人1室ご希望の場合

→1泊お一人あたり 4,200 円追加

<宿泊取扱期間>

8月3日(金)・4日(土)

<キャンセル料>

次の料率で宿泊の取消料をいただきます。

(宿泊当日の3日前より前日まで20%、宿泊当日50%、無連絡100%)

<駐車場のご案内>

**駐車スペースには限りがあります。**

<その他>

ご希望があれば大会申込書にご記入ください。

### 保育所のご案内

<保育時間>

8月3日(金)、4日(土) 9:00～17:00

8月5日(日) 9:00～12:30

<保育場所>

ホテルセイリュウ内

<費用> 1日1人2,000円(3歳児以上)

※保険料・おやつ・教具代が含まれます。その他、施設入場料・交通費が必要な場合は実費をいただきます。

※昼食は保護者の責任でお願いします。

### 昼食のご案内

<取扱期間> 8月3日(金)4日(土)、5日(日)

<昼食> 1,000円(税込)

※取消・変更は前日の12時までお受けします。それ以降の取消は返金できません。**なお、近くに飲食店はありません。**

### その他

1. 参加希望の新英研講座、分科会、テーマ別分科会/ワークショップの記入欄にも必ずご記入ください。

2. 出張依頼状が必要な方は下記までご要請ください。

柳沢民雄(新英研会長)

(自宅)〒369-1216 埼玉県大里郡寄居町富田1724

Tel./Fax.: 048-582-1060

E-mail: tami49yana-fuji26616@silk.plala.or.jp

3. 現地実行委員会連絡先

鎌田栄一(事務局長)

〒589-0011 大阪府大阪狭山市半田2-329-1-504

Tel./Fax.: 072-366-4652

E-mail: kamadaeichi@yahoo.co.jp

※なるべくメールかFAXでの連絡を。

## 参加申し込みについて

1. 申し込みはFAXをお願いします。p.7の「大会参加申込書」に必要事項を記入し、FAX送信してください。

2. 申込受付後、折り返し、メール、FAXまたは電話にて受付確認をお知らせします。

3. 大会1週間前までに、「各種予約確認書」「請求書」などを郵送します。(各種書類は大会当日ご持参ください。)

4. 上記書類が届きましたら、指定期日までに指定口座・振込先にお振込み願います。(振込手数料は各自ご負担願います。)

5. **申込締切7月13日(金)**

※なお、締切以降の申込については下記の申込・問い合わせ先までご連絡ください。

※早めのお申し込みをお願いします。

### 大会参加お申し込み・お問い合わせ

**JTB** JTB西日本 EC営業部

新英語教育研究会第44回全国大会 受付係

〒541-0056

大阪市中央区久太郎町2-1-25

TEL.:06(6260)5076 FAX.:06(6263)0717

E-mail: westec\_op1@jtb.jp

担当: 福永哲也 土井登紀子

FAX 申込先：JTB 西日本 EC 営業部  
**FAX:06(6263)0717** 担当：福永 / 土井

日付	受付番号
/	

## 新英語教育研究会 第44回全国大会 参加申込書

お申し込み内容 にはチェック印✓を、( )には数字をお書きください。

都道府県名	フリガナ		性別	<input type="checkbox"/> 男性	<input type="checkbox"/> 女性
	申込者 お名前		<input type="checkbox"/> 新英研会員 <input type="checkbox"/> 未会員 <input type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 学生		
同室希望の家族がいれば名前をカタカナで記入、子ども用食事希望の場合はチェック印を記入してください。		( )歳	<input type="checkbox"/> 子ども用食事		
		( )歳	<input type="checkbox"/> 子ども用食事		
		( )歳	<input type="checkbox"/> 子ども用食事		
住所	〒 都道 府県				
連絡先	希望する連絡先(自宅または勤務先)にチェック✓を記入してください。				
	<input type="checkbox"/> 自宅	TEL		<input type="checkbox"/> 勤務先	学校名
		FAX			
		E-mail			TEL
		携帯電話			FAX

参加形態 にはチェック印✓を、( )には数字をお書きください。

大会参加日	<input type="checkbox"/> 8月3日(金)	<input type="checkbox"/> 8月4日(土)	<input type="checkbox"/> 8月5日(日)
希望分科会 番号	新英研講座 講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 特別講座Ⅰ・Ⅱ <small>※○で囲む</small>	分科会 第( )分科会	ワークショップ/ テーマ別分科会 ( )
宿泊日	<input type="checkbox"/> 8月3日(金)	<input type="checkbox"/> 8月4日(土)	
昼食 <small>※人数をご記入ください</small>	<input type="checkbox"/> 8月3日(金) ( )人	<input type="checkbox"/> 8月4日(土) ( )人	<input type="checkbox"/> 8月5日(日) ( )人
保育希望日 <small>※人数をご記入ください</small>	<input type="checkbox"/> 8月3日(金) ( )人	<input type="checkbox"/> 8月4日(土) ( )人	<input type="checkbox"/> 8月5日(日) ( )人
<input type="checkbox"/> オプション・ツアー(8月5日)( )人 ※集合 13:30			
◎ワークショップとテーマ別分科会は同時開催です。 ◎家族部屋や少人数でのご宿泊の希望があれば通信欄にご記入ください。 ◎宿泊は定員4～5人の相部屋になります。同室ご希望の大会参加者があればその方のお名前を通信欄にご記入ください。また、部屋割りなどで配慮すべきことがある場合もご記入ください。			
通信欄			



Your Global Lifestyle Partner

旅、スマイル

# JTB 西日本 EC 営業部



■TEL 06-6260-5060

■FAX 06-6260-5090

営業時間 09:30～17:30

定休日：土・日・祝（12/30～1/3）

ひと味ちがう、日本の旅。

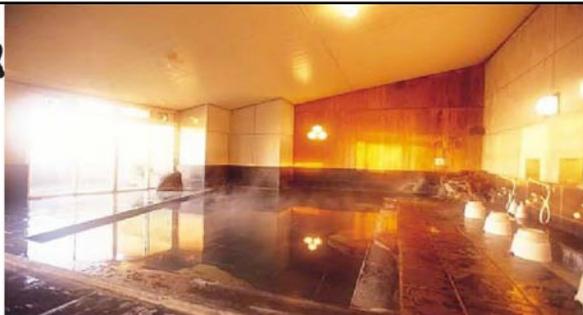


■e-mail echints@jtb.jp

※ホームページもご覧下さい。〈 <http://www.jtb.co.jp/shop/wec/info/> 〉



温泉  
を楽しむ  
前も  
準備  
する



国際観光ホテル整備法 登録旅館  
東大阪石切温泉

## ホテルセイリュウ

〒579-8012 東大阪府石切町1-11-12

予約  
代表 **072-981-5001**

FAX:072-987-0887 e-mail:hotel-seiryu@par.odn.ne.jp

ホームページ <http://www.hotelseiryu.com>

### ◆公・演・の・ご・案・内◆

## 『ハンナのかばん』

原作／カレン・レビン 脚色／エミール・シャー 翻訳／吉原豊司

台本／宮越洋子 演出／菊池准

**学校公演**

10月より  
巡演開始！！

- 日時：2007年9月26日（水）19：00  
27日（木）14：00／19：00  
28日（金）14：00／19：00

●会場：ワッハホール  
（大阪市中央区難波千日前12-7 なんば花月向い 「ワッハ上方5F」）



〒546-0024 大阪市東住吉区公園南矢田2-4-7

TEL06-6695-6401 FAX06-6695-6405

E-mail:koorojp@yahoo.co.jp <http://www.kooro.com>